

国庫補助事業

令和7年度地域スポーツクラブ推進体制基盤強化事業地域のスポーツ環境基盤強化 秋田県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会研修会報告

- 1 テーマ 『スポーツ団体におけるガバナンス・コンプライアンスの必要性』
- 2 日時 令和7年6月27日（金）13時30分から16時30分
- 3 場所 秋田県スポーツ科学センター研修室
- 4 講師 REGISTA SPORTS MANAGEMENT 代表 谷塚 哲 氏



◎プロフィール

1972年埼玉県生まれ。武南高校・順天堂大学とサッカーを続け、社会人は地域リーグでJFL参入を目指す。30歳で現役を引退し、行政書士試験合格。平成17年に谷塚行政書士事務所を開業。専門家による専門的なスポーツマネジメント組織の確立を目指し、REGISTAを立ち上げる。

5 内 容

【スポーツ権】

- スポーツをする権利

【ガバナンスとコンプライアンス】

- 運営の透明性確保、遵守すべき基準を作成、スポーツに関する紛争について迅速かつ適正解決

【スポーツインテグリティ】

- 誠実性、健全性、高潔性

【スポーツの産業化】

- 2025年までに15兆円のスポーツ市場規模

【契約】

- 契約が成立する時期（相互の意志で成立）

【雇用契約と委託契約】

- 指揮命令権の有無

【事業者と消費者】

- 総合型クラブとクラブ会員の関係性
（消費者基本法、消費者契約法）

【個人情報の取扱い】

- プライバシーポリシーの作成、公表

【肖像権】

- プライバシー権、パブリシティ権

【スポーツ団体の法人化】

- 信頼性、継続性
- 法人の選択（私益か公益か）
- 財団、社団、NPO（財産の集合体、人の集合体）

【参加者の感想】

- 情報が盛りだくさんでした。昨年度伺った内容も思い出しました。常に心に止めておきたい内容であると思うので、同じ内容でも定期的に聞きたいと思います。
- 内容や展開が簡潔で且つ実例も添えられていたことで理解しやすかった。また、見極め方、割り切り方についても歯切れよく紹介されていたことが大変参考になった。
- 法人格を既に取得している団体とそうでない団体、また取得を想像している個人にとっても



大変貴重なお話を伺えたと感じています。組織マネジメントという知識とスキルは、多くの方々にも必要不可欠なものと認識しています。教員や指導者の多くの方々にとっても、大変有効有意義な内容であると感じています。そういった方々が、より主体的に、積極的に参加するようになって欲しいとも思いました。貴重な機会を作っていただきましたことに、心から感謝申し上げます。

○法人格取得と資金集め・相互控除・企業とのマッチングなどの実際について、また取得に向けた申請の模擬体験について、今回の内容の続編も参加してみたいと思いました。

○ガバナンス・コンプライアンスの意識醸成になった。加えて、法人格取得のイメージが具体的にになりました。

○法人格取得のメリット・デメリット、取得の手続き方法、取得後に求められる事務処理等、事例などを紹介してもらいながらのケーススタディといった、法人格取得について細分化してもっと細かい話を聞いてみたかったです。

